



令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」



事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福島県】

学校名【会津若松市立行仁小学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	第4学年 計48名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（総合的な学習の時間）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 （ねらい）	「障がい者スポーツ体験～パラリンピックと共生社会～」をテーマに、福祉体験やゴールボール体験等を通して、障がいについての理解を深めるとともに、パラリンピックに挑む選手の姿から目標に向かってやり抜く素晴らしさを学び取り、共生社会に必要な資質を高める。
5 取組内容	<p>○「福祉体験（白杖体験 車椅子体験）」 講師 熊田洋子氏 山田直美氏 鈴木美奈子氏 （会津若松市社会福祉協議会）</p>  <p>○「東京オリンピックトーチリレー体験」</p>  <p>○「パラリンピックについての講話・ゴールボール体験」</p>

	<p>講師 石谷一寿氏 佐藤耕平氏 鈴木和幸氏 (リ-フ-ス株式会社)</p>  <p>○「東京2020パラリンピックゴールボール競技テレビ観戦」 (女子3位決定戦 日本 VS ブラジル)</p>  <p>○総合「学習を通して学んだことや感じたことをまとめよう」 ○総合「障がい者スポーツ体験～パラリンピックと共生社会～ 学んだことの発表会」(授業参観)</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>○「白杖体験や車椅子体験等の福祉体験」を通して、障がいについての理解が深まり、インクルーシブな社会に向けての考えが深まった。</p> <p>○「ゴールボール体験」を通して、実際にパラリンピックの競技体験から障がいをもつ方も、私たちと同じようにスポーツに取り組み、技能を高めパラリンピックに挑戦していることを学ぶことができた。</p> <p>○「総合：障がい者スポーツ体験～パラリンピックと共生社会～学んだことの発表会」では、授業参観として保護者の方にも児童の学びの様子を理解していただくことができた。発表を通して、児童は学んだことをさらに自分のものとし、パラリンピックや福祉についての理解が深まった。</p> <p>○本研究を通して、共生する社会(インクルーシブ)についての理解が深まり、児童一人一人が友達を大切にする言動が多く見られるようになった。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>○白杖体験や車椅子体験、ゴールボール体験など、外部講師を招いて体験的な活動を多く取り入れ、児童に新たな体験や考えを通して、ねらいに迫ることができるようにした。</p> <p>○体験して学んだことを、授業参観で保護者に発表することで、学びを自分のものとして、さらに考えを深めることができるようにした。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○体験学習に伴う外部講師招聘(人選や交渉・経費等)</p> <p>○今年度の取り組みを、どのような形で来年度以降継続していくか。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○未定</p>